

全溶連

令和6年1月 第207号 www.zenyoren.com/

- 全溶連 現場を守り 80年
- 重ねよう 細かな確認 自主保安



(全溶連は2030年度に向けて掲げたSDGsの目標に取り組んでいます。)



第14回 写真コンテスト優秀作品

「鉄路の記憶：旧国鉄 土幌線 タウシュベツ川橋梁」都田孝治 様 (大阪高圧ガス溶材協同組合)

深尾会長年頭挨拶	2	単位組合紹介 (茨城県高圧ガス保安協会)	12
第31回保安対策連絡会議	3	賛助会員の広場	
高圧ガス保安大会表彰	8	(パナソニック コネクト/三井住友海上)	13
第14回写真コンテスト佳作作品		全溶連ポイントゲットキャンペーンPart4のご案内 ...	14
委員会報告	9	お知らせ (川柳募集のご案内)	15

2024年 会長年頭挨拶

一般社団法人
全国高圧ガス溶材組合連合会

会長 深尾 定男



明けましておめでとうございます。高圧ガス並びに溶材業界の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より全溶連の事業活動に対しまして格別のご指導ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染法上の分類が季節性インフルエンザと同じ5類に移行することで、基本的な感染対策は継続するも、個人、事業者の判断に委ねることとなり、これまでと対策は大きく変わりました。これにより徐々にではありますが、コロナ前に状況に戻りつつあり、高圧ガス保安に対する活動が再開されました。

一方、ロシア・ウクライナ問題の長期化、イスラエルとハマスの紛争の影響もあって、エネルギー価格や原材料の高騰、急激な円安など、国内外においても社会的・経済的不安が未だ収まる気配はありません。

加えて、温暖化の影響により、大規模な自然災害の発生頻度が高まっており、特に河川の増水に伴う高圧ガス容器の流出等の社会的不安に対しては、関係団体と協力して対策の徹底を図ってまいります。

高圧ガスは、人々の生活だけでなく産業用、医療用、食生活においても多種多様な用途に利用され、防災対策上も必要不可欠な資源です。災害時においては、業界全体が安定供給と保安確保に支障をきたすことのないよう、被災情報の収集など、関係機関と連携強化が必要です。

こうした状況下、消費先における高圧ガス災害事故状況は、依然として高水準で推移し、その事故原因は多岐に及びますが、いずれの事象においても誤操作・誤判断によるヒューマンファクターが上位を占めます。

全溶連では高圧ガス消費者と直接結びついている全国組織として、消費先における取扱いガ

スの特性や機器の使用方法の再確認、高圧ガスの保安確保のための設備点検等、自主保安体制強化について啓発活動を行って参ります。

具体的には、例年各地域の行政と共催しての「消費者保安講習会」は、参加者人数、開催規模の制限もなく、感染対策を講じて各地域で開催されました。

また、放置容器、停滞容器の危険性を重視した取組として、10月に関係団体と協力して「高圧ガス容器全国一斉特別回収」を実施し、事故発生防止と保安の確保、容器の効率的な運用を促すべく活動を実施し、11月に溶接関連団体による「保安対策連絡会議」を開催し、保安意識の強化、設備点検の推進、各団体の活動内容を共有化し、保安啓発活動を行っております。

昨年6月、第80回全溶連大会九州を4年ぶりに開催し、多くの方々にご臨席を賜り、新たな活動として「SDGsの宣言」を発信しました。全溶連の会員各位のガスビジネスの延長上で社会課題を解決し、持続可能な世界を目指す活動であります。11の目標と17のターゲットを目指して、これまでの活動はもとより、更に徹底した内容に取り組み、環境問題をはじめ、公共の安全、質の高い教育、クリーンエネルギーの提供など、幅広く貢献して業界の地位向上に努めてまいります。

これらを含め、関係行政機関や関連業界の倍旧のご指導ご支援をお願いし、全溶連の保安スローガン「重ねよう 細かな確認 自主保安」を掲げ、自主保安活動に着実に取り組んでまいり所存でございます。

年頭にあたり、全溶連会員、賛助会員の皆様をはじめ各関係業界の皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げますとともに、引き続き全溶連の活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

第31回 保安対策連絡会議

2023年11月14日（火）東京グランドホテルにおいて業界関係者による第31回保安対策連絡会議が行われました。

出席者 （一社）日本産業・医療ガス協会
 （一社）日本溶接協会 ガス溶断部会
 （一社）日本溶接協会 ガス溶断部会
 日本乾式安全器工業会
 （一社）全国高圧ガス容器検査協会
 日本高圧ガス容器バルブ工業会
 （一社）全国高圧ガス溶材組合連合会

業界誌関係

澤木専務理事
 金本安全推進委員会委員長
 阪口安全推進委員会副委員長
 打田会長
 伊藤副会長
 鈴木事務局長
 深尾会長、石川副会長、佐藤理事経済委員長
 大岡保安委員長、吉住経済副委員長
 宮川経済副委員長
 関口事務局長他1名 計14名（敬称略）
 産報出版(株) 1名、新報(株) 1名

まず深尾会長より「本会議も平成5年以来、毎年の開催を重ね、今回で31回目を迎えることが出来ました。これもひとえに、関係団体ならびに会員の皆様方のご理解ならびにご協力の賜物と感謝申し上げます。



深尾 会長

さて、足元の環境は、ロシア・ウクライナ問題の長期化、イスラエルとハマスの紛争の影響もあって、エネルギー価格や原材料の高騰、急激な円安など、国内外においても社会的・経済的不安は未だ収まる気配はありません。

加えて、温暖化の影響により、大規模な自然災害の発生頻度も高まっており、全溶連としては、これまでに経験したことの無い環境にあって、近年発生頻度の高まっている自然災害にも備えていかなければなりません。

特に、河川の増水に伴う高圧ガス容器の流出等の社会的不安に対しては、関係団体と協力して対策の徹底を図っております。また、高圧ガスは防災対策上も必要不可欠な資源であることから、災害時における安定供給と保安確保に支障をきたすことのないよう、関係機関との連携強化にも注力しております。

全溶連では、全国の消費者の窓口である販売店の組織として、高圧ガスの保安の確保、ならびに、自主保安体制の構築によって、消費者の皆様が保安意識を更に強化され、高圧ガスの設備の日



常点検を行っていただくよう啓発活動も行っています。

加えて、KHK、JIMGAと協働し、放置容器については、その危険性の情宣活動と、高圧ガス容器回収、早期返却、契約推進に関する啓発のため、今年も10月に高圧ガス消費事業所向けのポスターを全国の会員各社に配布し、全国一斉放置容器回収運動に取り組んでいます。

また、全溶連では新たな活動として、経済委員会が中心となり、保安委員会の協力のもと「SDGs宣言」し、環境問題をはじめ、公共の安全やコンプライアンス、質の高い教育、クリーンエネルギーの提供などに幅広く貢献して業界の地位向上に努めてまいります。（以下省略）」との挨拶があり、次いで本日、会議進行役の佐藤委員長より「本日は貴重な時間を割いて保安対策連絡会議に出席頂きそれぞれの団体の方から活発な意見、ご助言を頂き、今後の全溶連の運営に活かせるようにしたい。」との挨拶の後、議事に入った。

最初に報告事項ということで前年度議事録の確

認、消費先における容器事故の分析と容器処理事業の実施状況に関する報告を行った後、各団体における保安活動、事故対策の取り組み及び問題点について意見交換を行った。

◇（一社）日本産業・医療ガス協会 JIMGAにおける保安活動、事故対策の取り組みと問題点について

1. 高圧ガス容器配送用テールゲートリフター付車両に関する特別教育について

容器の取り扱い時における転落事故等が多発していることから労働安全衛生規則が改正され「テールゲートリフターの操作による特別教育」が義務付けされた。



日本産業・医療ガス協会
澤木専務理事

特別教育については令和6年2月より施行されることになった。

これに伴いJIMGAでは講習会開催の取組を行うこととし、陸上貨物輸送災害防止協会と連携し、テールゲートリフターの取り扱いについて講習会と実務を始めている。

10月より3回ほどの開催を計画しており、全国で60～70会場にて保安担当者を対象とした講習会を全国展開することで進めている。受講者総数としては700名～800名になると見込んでおり、受講終了者は自社に戻り講習内容を関係者に周知頂くこととしている

2. JIMGA安全ニュースNo16について（配布資料参照）

KHK「2020年に発生した高圧ガス保安法事故一覧表」（2021年4月）より、喪失、盗難を除く災害事故について、LPG・冷凍関係および物質名で液化石油ガス・炭化水素・アンモニア・塩素等の高圧ガスを除き、産業ガスの『高圧ガス容器の転倒・転落（容器取扱労災含む）に関連する事故』について分類・再集計した資料の説明を行った。

3. 産業ガス関係災害事故の推移について

・輸送に着目し、事故数の推移を見てみると事故区分として移動に係る事故件数は、2011年～2020年までの10年間で約100件の事故が発生していることから安全対策の必要性がある。

・高圧ガス容器全国一斉特別回収の実施については、各関係団体と協力し、昨年11月7日と16日に高圧ガス車両の路上点検が実施され、違反車両の摘発が発生している。

違反例として以下の内容を指摘された。

- ①注意事項が記載されているイエローカードの不携帯
- ②容器の転倒防止不足（2本のシームベルトで緊縛する必要がある）
- ③転倒防止策がなされていない。
- ④消火設備の不備
- ⑤バルブの充填口の向きが違っている
- ⑥バルブの充填保護装置を講じていない、

・高圧ガス車両の路上点検実施結果について東京都より状況報告を受けた。トラックの2024年問題も間近に迫っておりテールゲートリフターの取り扱い操作の教育も含め高圧ガスを安全に消費者に届けることは我々の責務であり、安全に対して十分に注意を喚起していきたい。

◇（一社）日本溶接協会 ガス溶断部会 日本溶接協会 ガス溶断部会 保安活動、安全対策の取組について

1. ガス溶断器用圧力調整器の高圧部部品供給の停止に関する周知活動について

安全推進委員会では、ガス容器用圧力調整器のユーザーが、自ら高圧部部品を交換及び修理し、これに起因する火災・人身事故の発生を防止する為に、ユーザーに対する高圧部部品の供給を2022年8月1日から停止した。

（URL：http://www.jwes.or.jp/senmon/gs/archives/2020/10/post_6.html）

同内容に関する周知活動であるが、昨年は周知が徹底されていないとの指摘を受けていたことから周知活動の一環として今年6月に業界紙「溶接新報」にインタビュー記事を掲載、10月に保安特集記事を「溶接ニュース」にインタビュー記事として掲載し、来年2月にガスレビューに掲載することで進めている。

2. ガス溶断機器定期点検の周知について

新報より発行されている「溶接新報」及び産



日本溶接協会
金本委員長

報出版より発行されている「溶接ニュース」にガス溶断機器類の定期点検に関する広告を掲載し、ガス溶断器の適正な点検の励行を呼びかけた。



日本溶接協会
阪口副委員長

3. 逆火防止ビデオの作成について

日本乾式安全器工業会と協力して、逆火防止ビデオの作成に向けて準備している。現在、動画の内容及び配信方法について検討中である。

4. 講習会の開催状況について

「熱切断作業の品質と安全講習会」については、平成16年から実施しており、過去18回の開催で延べ約1,200名が受講している。今年度は2023年11月2日に東京（秋葉原）及びオンライン（WEB）にて開催し41名が受講した。講習会の開催状況

- ・第13回 平成28年8月26日（金）
10：00～16：30 福岡：博多 参加者 58名
- ・第14回 平成29年8月25日（金）
10：00～16：30 東京：秋葉原 参加者 57名
- ・第15回 平成30年8月24日（金）
10：00～16：30 大阪：大阪大学 参加者 40名
- ・第16回 令和元年6月24日（月）
10：00～16：30 東京：秋葉原 参加者 37名
令和2年度の講習会については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止
- ・第17回 令和4年1月28日（金）
13：00～17：00
東京：秋葉原及びオンライン 25名
- ・第18回 令和4年11月16日（水）
13：00～17：00
東京：秋葉原及びオンライン 76名
- ・第19回 令和5年11月2日（木）
13：00～17：00
東京：秋葉原及びオンライン（WEB）41名
昨年の会議において調整器の高圧部部品供給の停止に関する周知の徹底がなされていない旨の指摘を受けたことから、1年を通じ営業マンに再度周知すべく働きかけ、逆火防止器については周知が徹底していると肌で感じているが、調整器の部品停止の周知度は未だ足りないように感じており、より一層の周知対応をお願いしたい。

◇日本乾式安全器工業会

日本乾式安全器工業会における活動報告について

今年度の事業報告を以下に報告する。

1. 事業期間・会員情報

期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

会員：9社

- ・岩谷瓦斯株式会社
- ・小池酸素工業株式会社
- ・高圧ガス工業株式会社・株式会社阪口製作所
- ・信和ガス装置株式会社・株式会社千代田精機
- ・ヤマト産業株式会社
- ・第一産業株式会社
- ・日酸 TANAKA 株式会社



日本乾式安全器工業会
打田会長

2. 事業内容

1) 講習会・講師派遣

- ・今年度9回実施（前年度 4回実施）
- ・活動内容
 - ①令和4年10月6日
「宮城県高圧ガス保安講習会」
溶断器の安全な取扱い方法・乾式安全器の作動原理・逆火の実演
 - ②令和4年10月12日
「埼玉県高圧ガス防災訓練」
乾式安全器（アセチレンガス）逆火阻止実演
 - ③令和4年10月12日
「大阪府高圧ガス防災訓練」
乾式安全器展示及びチラシの配布
 - ④令和4年10月19日
「神奈川県高圧ガス地震防災緊急訓練」
アセチレンガスによる逆火公開実演、乾式安全器の実演、パンフレットの配布
 - ⑤令和4年10月21日
「東京都高圧ガス防災訓練」
乾式安全器のアセチレン逆火阻止実演
 - ⑥令和4年10月26日
「福島県高圧ガス防災訓練」
乾式安全器のアセチレン逆火阻止実演
 - ⑦令和4年10月16日
「静岡県高圧ガス・危険物防災訓練」
アセチレンガスによる逆火公開実演、乾式安全器の実演パンフレットの配布
 - ⑧令和4年11月17日
「千葉県高圧ガス輸送車等防災訓練」

アセチレンガスによる逆火公開実演、乾式安全器の実演パンフレットの配布

⑨令和5年 3月15日

「高圧ガス地域防災協議会（多摩支部）」
保安講習

2) 啓蒙活動

- ・適切な設置及び点検の重要性と新品交換の推奨
- ・溶断用可燃ガス全般を用いた溶断作業への乾式安全器設置を推奨
- ・アセチレンガス設備以外にも安全器の設置を推奨
- ・乾式安全器の定期点検・設置普及活動ポスター・チラシの作成（一部見直し）

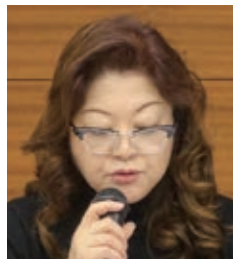
乾式安全器の設置については、比較的進んでいるが3年に一度メーカーに返却し点検しなければいけないという部分について、大手企業は意識が高いのだが規模の小さい企業については周知が徹底されていないことから今後も啓蒙活動が必要である。また、新たに水素を含んだ混合ガスが溶断用ガスとして出現していることから同ガスへの安全器設置の推進について協議しているところである。

◇（一社）全国高圧ガス容器検査協会 全国高圧ガス容器検査協会の取組について

1) 当協会でもテールゲートリフターの教育を行うことで進めている。

当協会が扱う主な容器には残ガスがない状態であるが、テールゲートリフター付車両の特別教育に至った背景としてはコンビニ等での作業時において枠に入った収納ケースが荷台より落下する事例が散見され、人的被害への発生事故が全国各地の広範囲に多発している現状があり、病院に運び込まれている事例報告も後が絶たず、病院からの情報経由で経済産業省に情報が入り問題視され、これを機にテールゲートリフターについて見直しを行うべく今回の法令が急遽できたという経緯がある。

トラックにしても、取っ手のない車両には乗車してはならない。踏み台がなければ乗車してはならない等細かな話が種々あり、我々の団体



全国高圧ガス容器検査協会 伊藤副会長

ではこのような話題も取り込んで教育をしていく考えである。

2) 我々の扱う容器は耐圧試験を行う容器であることから、ガスは入っていないという判断が下される。キャップがついていないボンベも数多く持ち込まれてくる。ガスが入っていてもバルブがついている状態であれば、ガスが入っているものとみなされるのでバルブがついている場合は、必ずキャップを取り付けた状態で耐圧検査に出してほしい。

◇日本高圧ガスバルブ工業会

準備が足りず資料の用意もなく出席させていただいたが特段の報告事項もありません。



日本高圧ガスバルブ工業会 鈴木事務局長

◇全国高圧ガス溶材組合連合会

- ・2023年6月の全溶連大会においてSDGs宣言を行ったが、全溶連が目指すSDGsへの取組について取り纏めAI自動音声によるビデオを鑑賞いただいた。



全国高圧ガス溶材組合連合会 大岡保安委員長

全溶連SDGs活動の進捗について説明

6月の宣言から間もないこともあり踏み出したところである。

先ず会員向けのアンケートを収集し状況を把握
指針調査・火災予防条例調査

- ・全溶連容器保安指針と市町村火災予防条例調査と整理

検討事項：指針と運用マニュアル的なものの最新版を各組合より徴収

- ・発行元 取組状況 成果の評価

検討事項：指針すべての内容の総合判断

周知文書

- ・周知文書（手段も含め）の訴求力向上、理解度や効果の向上についての検討。

検討事項：どこから着手する？

→スケジュール等をWGにて検討

- ・周知文書の多様化(他ガスの取込み)や再編検討(合本等)。

検討事項：規格外周知文書を是とするか
溶接溶断用とLPG用の合本

周知文書の電子化について考察→WGにて検討

- ・周知義務徹底状況の全国調査、遵法内容の再確認(経済保安合同)。

検討事項：アンケート後、達成度に応じて分析
→素案をWGにて検討。

保安資料

- ・販売業者の保安レベル底上げに必要な提案募集・実施検討

検討事項：動画による提案提供・オンライン講習会の普及⇒費用はどうか

コスパ保安資料の再編・発行について費用を
どうするかWGにて検討

悪用・犯罪利用

- ・占有容器が悪用された場合のリスク発信

検討事項：動画による情報提供、オンライン講習会⇒費用をどうするかを検討

- ・盗難防止や安易な貸与抑制の指導・宣伝の為の施策⇒リスク喚起の手段検討

台帳様式検討

- ・震災対策や流失防止策などの台帳、保安テキストへの追記

検討事項：台帳追記様式を検討、資料内容の是非⇒台帳様式はWG

- ・誤用ガスについて保安台帳の対応、周知追記、個別契約の検討

検討事項：台帳追記様式を検討、契約様式への追記内容検討

保安契約改正

- ・指定薬物や吸引系ガスの事故に寄与する契約内容の検討

- ・盗難紛失・流失に対応した契約内容を検討

- ・代理登録契約について⇒KHKにひな形修正案を提示

広報主体

- ・ネット上保安情報の発掘・PR

検討事項：発掘後の評価／広報手段／表彰
⇒広報で検討

- ・コンテンツ制作の支援・推進

検討事項：収集素材の取り扱い基準
⇒広報で検討

経済委員会 (SDGs以外)

- ・販売時マニュアル改定の掲載追加要望、改善意見募集

検討事項：アンケート作成

- ・賠償責任保険未加入会員への補償内容や適用実例PR⇒加入促進用PR内容の洗い出し

インボイス・荷役作業等経済的問題の調査・解決事例紹介⇒意見徴収

- ・今後を見据え委員会内WGの立ち上げ⇒保安・経済両委員長が主導

保安委員会 (SDGs以外)

- ・関連業界及び団体との高圧ガス関連保安活動の更なる活性化⇒KHK 殿意見交換

- ・高圧ガス容器全国一斉特別回収運動の継続実施と危険容器(放置、長期停滞)等処理活動

検討事項：テーマが多く組織改編で当たりたい
⇒案件ごとに委員に依頼する方式

- ・野良容器撲滅対策(代理登録契約の改善含む)

検討事項：①法47条の充填規制適用提案
②オークション販売容器の規制
③超長期停滞容器の一層対策

①～③の対応について検討していく。

- ・継目無し容器取説に関して

昨年の連絡会の中において、継ぎ目なし容器取説を発行してから10年を経過し、また同取説の在庫が僅かのため改訂版の作成が必要である旨を説明し、皆さんの意見をお聞きした。

同内容を基に保安委員会において審議した結果、「継ぎ目なし容器取説」項の目次+追加項目を網羅し作成する事で進めていくことで考えている。

最後に石川副会長より「本日頂いた貴重なご意見等を参考にしてさらなる保安確保に活かした活動を推進していく」ということで、第31回保安対策連絡会議を終了した。



栄えある受賞おめでとうございます

2023年第60回高圧ガス保安大会（東京・港区ANAインターコンチネンタルホテル東京）が10月27日（金）に開催され、今年度における高圧ガス保安経済産業大臣表彰を始めとする各表彰者のうち全溶連会員多数の方が表彰されました。

経済産業大臣表彰

優良製造所

伊丹産業株式会社 福崎支店（兵庫県）

優良販売業者

気仙沼酸素株式会社（宮城県）

株式会社サイサン 産業ガス部 北関東営業課

小山営業所（栃木県）

保安功労者

三嶋茂樹氏 株式会社アポロ月山（山形県）

田中 勝氏 大丸エナウィン株式会社（大阪府）

高山眞司氏 高山産業株式会社（岡山県）

優良製造保安責任者

石川 桂氏 中国酸素株式会社（広島県）

高圧ガス保安協会会長表彰

優良販売業者

東邦酸素工業株式会社 小山営業所（栃木県）

麻布産業株式会社 城南営業所（東京都）

大豊商事株式会社（愛知県）

保安功労者

石川尚久氏 内田商事株式会社（神奈川県）

野畑雄幸氏 株式会社ノックス（神奈川県）

松原好成氏 株式会社松原商店（愛知県）

伊藤玄一氏 元 兵庫県高圧ガス協同組合（兵庫県）

小倉尋幸氏 オグラ産業株式会社（兵庫県）

高浜充治氏 高浜酸素株式会社（兵庫県）

池田良二氏 福岡酸素株式会社（長崎県）

優良製造保安責任者

上原 武氏 上毛天然瓦斯工業株式会社

北関東事業所

群馬ガスセンター（群馬県）

引田浩一氏 カンサン株式会社

高崎事業所エアガス工場（兵庫県）

優良販売主任者

押久保光治氏 東進産業株式会社

西那須野営業所（栃木県）

加藤秋則氏 イツモ高圧株式会社（栃木県）

高田雅人氏 株式会社マルホン 太田支店（群馬県）

茂木克仁氏 株式会社モテキ（群馬県）

保安功績者A

小関彰一氏 エア・ウォーター北海道株式会社（北海道）

武田直樹氏 東横化学株式会社（神奈川県）

第14回 写真コンテスト 佳作作品



佳作「あお」

中西 一浩様

（伊賀産業株式会社 加賀事業所）



佳作「姫路のお城」

羽部 寿雄様

（伊賀産業株式会社 加賀事業所）



佳作「富士山」

小澤 昌幸様

（高知溶材株式会社）

優秀賞1名・佳作3名・参加賞11名（総勢15名参加24作品）
ご参加ありがとうございました。

委員会報告

2023年11月～12月

経済委員会

日時 2023年10月13日(金)14:00～16:30

場所 エッサム神田1号館 902号

出席者 深尾会長、佐藤委員長、吉住副委員長、
宮川副委員長、渡辺委員、松下委員、
宮原委員、松原委員、小林委員、山田委員
オブザーバー：大岡保安委員長
オンライン参加：小宮委員、河内委員、
藤田委員、東委員

事務局2名

オンライン参加：佐藤（三井住友海上火
災保険㈱）

議題

1) 2023年度の経済委員会活動方針について

活動方針としては、全溶連会員の経済的な問題として上がってくる共通課題を解決すべく、昨年、本委員会から立ち上げたSDGs宣言の目標に沿って活動し、従来行っている賠償責任保険などの活動も粛々と進めていく。

①SDGsの宣言目標達成への活動（保安委員会と共同）②SDGs活動の推進管理等③会員企業社員の教育支援資料更新④賠償責任保険制度の加入促進⑤その他会員の要望による経済的問題の解決支援等の5つの事業計画を立てている。

2) 賠償責任保険加入状況について

全溶連の賠償責任保険は第三者に対して対人事故、対物事故を補償するものであり、事故の形態としては業務上の事故、引き渡し後の事故、施設に関する3パターンリスクを実態に合わせた形で賠償保険はカバーしており、万一の賠償リスクをカバーする保険であり加入促進の対応について取り組んでいく。

3) 容器管理指針の具体的な活動について

高圧ガス容器管理指針等の発行都道府県容器返却期限について47都道府県を北海道から九州迄の9ブロックに分けて取り纏めている。

現時点では容器管理の返却期限が設定され、3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月に分類され、47都道府県中3ヶ月に設定されている地域は2件、6ヶ月が9件、12ヶ月が33件、記載に返却期限が明記されていない地域が3件となっている。

今後、指針に対し通算して最長1年とすることで検討いただくよう進めていきたい。

4) 保安文書価格表について

2023年4月に保安文書価格表の改訂を行ったが、9月に高圧ガス消費者保安講習テキストと高圧ガス保安心得を内容の刷新を行い発刊したが、テキストについては価格据え置きとし高圧ガスの保安心得についてはコスト高の中で作成した事から従来の頒布価格の1部110円を250円に対応させていただいている。

5) SDGsの取組について

SDGsに於いては鳥インフルエンザという、大きなテーマがあるので各委員の皆さんには鳥インフルへの取組み部分に入って頂き進めて頂きたい。また、鳥インフルエンザの実態調査を行っていく。

SDSについて範囲が広がり高圧ガスに波及してくることから、SDGsはSDSに移行することは間違いないと思われる。周知文書の周知方法も含めたシステムについてどのように進めていくか、周知させる義務について考えていく。

保安委員会

日時 2023年10月20日(金)14:00～16:30

場所 エッサム神田ホール 902号

出席者 深尾会長、大岡委員長、鈴木副委員長、
柳田副委員長、伊藤委員、齋藤委員、
中西委員、境委員オンライン参加：三嶋委員、折茂委員、
福島委員、原田委員、
中森委員、宮城委員、
古谷委員

事務局2名

議題

1) 2023年度保安委員会活動方針の件

- ①高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守
- ②主管庁・協会への献策・関係法規制に対する意見具申、伝達指導
- ③高圧ガス保安法に基づく「周知させる義務」の高度化・活性化
- ④消費者講習会開催など、消費者に対する啓

蒙、自主保安活動の指導・推進

- ⑤関連業界及び団体との高圧ガス関連保安活動のさらなる活性化
- ⑥高圧ガス容器全国一斉特別回収運動の継続実施と危険容器等処理活動
- ⑦高圧ガスの乱用、悪用および犯罪抑止、自然災害対策のための活動
- ⑧持続可能な高圧ガス活用社会実現ための目標達成

課題が多いため、分担制にすることを適宜依頼することになった。

2) 高圧ガス事故（消費先）と放置容器の処理推進について

- ①令和4年度高圧ガス事故の現状について
 - ・高圧ガス保安法関連事故件数
製造事業所の事故2,798件（85.7%）、消費先の事故274件（8.4%）、移動中の事故109件（3.3%）となっている。消費先の事故の原因別の分析としては、誤操作・誤判断不良行為等のヒューマンファクターによるものが散見される。

・人的被害の推移

令和4年の人身事故は28件発生し、前年比9件減少、死傷者は33名と前年比37名減となっている。令和4年度の死亡事故は愛知県において発生したLPガス積載車両による事故で1名、消費先ではなく石油製造にかかわる事故であるが、製造検査時に縄梯子から足を踏み外し転落による事故である。

②容器回収月間について

2023年度についての概要を説明した。

前年度に引き続き全国一斉高圧ガス容器特別回収運動を実施し、今年も回収報告には回収場所の報告を追加している。

③放置容器処理事業（特別枠）の処理状況について

第6期（2020年4月1日から2023年3月31日）の最終年度となる。

2022年度の配賦予算は4,931,100円でスタートし、最終的に内容物不明容器2本、毒性ガス容器2本、アセチレンガス容器188本、合計金1,138,940円の処理となり残金3,792,160円をKHKへ一旦返金した。

2023年度配賦予算としては新たに7期1

年度となることから3,330,000円が計上され、処理申請は内容物不明容器5本、毒性ガス容器3本、アセチレン容器232本で合計額2,648,545円の申請があり、残681,455円は本部預かりとするが、今後追加申請があれば充当していく。

配賦予算単価は内容物不明容器200,000円/本、毒性ガス容器100,000円/本、アセチレン容器5,000円/本（改訂）となっている。

3) その他

- ・バルブ付継ぎ目なし高圧ガス容器取説改訂版の作成を計画しているが、改訂版を作成するに当たってアンケートを実施した結果、特に備考、コメントなどはなく、総意としては掲載の方向であるが、地域事情もあると思われることから個別に意見を伺い、折り合い点を見つけ掲載内容を決定したい。
- ・危険物運搬車両に対する指導取り締まりについて

令和5年9月29日付で警察庁生活安全局保安課長より経済産業省産業保安グループ高圧ガス保安室長あてに協力依頼要請書が提出され、同依頼書に基づき経産省より全溶連に周知徹底を励行願いたい旨の通達があった。

依頼内容は、「例年11月を危険物運搬車両に対する指導取締りの実施期間として重点的に指導取締りを推進してきたが、今後は全国一律の実施期間の定めではなく、関係機関が更に連携し、より実効的な指導取締りを地域の実情に応じて実施していきたい」との協力要請であった。

組織委員会

日時 2023年11月8日(水)14:00~16:00

場所 エッサム神田 902号室

出席者 福田副会長、竹腰委員長、瓦井副委員長、石塚委員、河崎委員、小澤委員、杉谷委員
オンライン参加：酒井委員
事務局2名

議題

1) 2023年度組織委員会活動方針について

会員の増強と組織の整備・拡充強化を2つの柱としており、未加入事業所の実態を調査し、単位組合の中で全溶連に加入していない会社に

対して加入促進を図っていく。

・活動計画の内容

- ①未加入事業所の実態を調査し、まだ単位組合の中で全溶連に加入していない会社に対して加入促進を図っていく。
- ②加入促進重点組合への取組については、過去において東北地域を重点に展開し一定の成果を上げた実績もあるが、今年度は重点組合の取組について皆さんの意見を聞いたうえで進めていきたい。

・各委員会の委員定数の検討

- ①2023年度の7委員会では、今年の6月に各組合への選任を行った際に委員の調整を行った。

今年度はSDGsへの取組を強化するため、前年度の経済委員会のメンバー構成を11名から16名に増員した。また、増強に伴い今年度より副委員長を1名増加し2名体制とした。

- ②各委員会の委員長選任については、評議員であることが絶対条件となっており、全体では48名の評議員から7委員会の委員長が選任されている。なお、副委員長の選出については2年前に評議員より選出するという規定を変更し、代議員からの選出を可能とした。

現在、代議員数は147名である。また、現在7委員会の委員総数は89名で構成されているが、48名の評議員のうち46名がいずれかの委員会に選任されている。

2) 全溶連組織の現状と会員数の推移について

全体的な話として未加入者の数を把握してい

ないことからまずは未加入者数の把握を行い次のステップで加入を進めていくことが必要である。

未加入者の洗い出しは困難を極めると思うが洗い出しを行った後、加入促進を進めていきたい。

例えば、毎年10月にKHK保安大会が開催され、経済産業省表彰、会長表彰が行われる。全溶連として表彰されている組合についてはチェックした後、会報誌に掲載している。

保安大会の表彰者一覧を確認したうえで勧誘業者を選定していくことは可能だと思われる。

3) 賛助会員について

・賛助会員加入状況

2023年4月の時点で38の賛助会員で構成されているが、他の業種先、同業種への加入交渉も検討し、また過去に賛助会員を退会した企業に再度交渉するのも一案と思われるのですり合わせを行いたい。まずは候補会社のリストアップを行い、ウェルディングショー出品メーカーとの照らし合わせを具体的に進めリストアップ後に担当を決め進めていくこととしたい。

4) その他・SDGs資料について

全溶連大会九州においてSDGsへの取り組み宣言を行い、全溶連として11の目標と17のターゲットを目指していくことにしている。

SDGsの取り組みについては経済委員会に主として活動していくが、各委員会に対してターゲットに対応する項目の割り振りを行ったので組織委員会としての取り組みも含め資料を熟読願いたい。

わが国最大の溶接・接合、切断技術専門展示会 JAPAN INTERNATIONAL WELDING SHOW 2024



Weld-Being
Weld-Beingとは...
良好な社会を実現するWell-Beingの造語

2024 国際ウエルディングショー

人・文化・技術をつなぐ溶接・接合、切断の新潮流 - Weld-Beingで環境負荷低減とDXに貢献 -

AM World

3Dプリンター
フォーラム

レーザ加工
フォーラム

テクニカルセミナー

自動車、鉄骨、造船の各産業分野および非破壊検査コーティングに関する最新技術動向

2024.4.24^W - 27^F

10:00~17:00
最終日4/27(土)は16:00迄

インテックス大阪

入場料
2,200円(税込)
(団体・学生550円(税込))

新機軸
企画
展示
と
講演

新開催

学生向けツアー
高校生VR・AR溶接王!

展示会に関する最新情報、来場事前登録はWebサイトから!

<https://weldingshow.jp/>

主催：一般社団法人 日本溶接協会 産報出版株式会社



2024国際ウエルディングショー事務局 産報出版株式会社

(東京本社)〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11 産報佐久間ビル TEL.03-3258-6411 FAX.03-3258-6430
(関西支社)〒556-0016 大阪市浪速区元町2-8-9 難波ビル TEL.06-6633-0720 FAX.06-6633-0840

単位組合紹介

一般社団法人 茨城県高圧ガス保安協会 一般ガス部会

所在地 茨城県水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館12階
TEL: 029 (225) 3261
FAX: 029 (225) 3257
E-mail office@ibakhk.or.jp



柳川部会長

1 一般ガス部会長

柳川隆則

(株)宝山産業 代表取締役社長

一般社団法人 茨城県高圧ガス保安協会副会長

2 沿革

- 昭和40年4月1日 茨城県酸素溶材商業会を発足
- 昭和44年7月1日 茨城県プロパン販売商業組合、茨城県LPG卸売協議会、茨城県酸素溶材商業会を統合し、社団法人 茨城県高圧ガス保安協会（平成24年4月1日からは一般社団法人）を発足

3 組織

- 会員数 56社
- 役員数 部会長1名 副部会長4名
幹事13名 合計18名
- 地区部会 5地区部会
(県北・県央・鹿行・県南・県西)

4 事業活動

- 不明容器や停滞容器の回収処理
 - 所有者不明容器の回収処理（年間）
- 販売事業者の事故防止対策
 - 販売事業者保安講習会の開催（年1回）
- 消費事業者の保安対策
 - 消費事業者保安講習会の開催（5地区を2つに分けてそれぞれ2年に1回）
- 社会貢献事業
 - かけ込み110番としての事業所の提供
 - 防犯パトロールの実施

- 思いやり運転の実施
- (5)防災対策の強化
 - 災害時等における連絡・通報体制の強化
震度5強以上の地震等が発生した場合は、被害の有無にかかわらず地区部会長は協会本部に状況を報告

平成27年9月に発生した台風18号による関東・東北豪雨により、本県の常総市地内においては鬼怒川の越水や決壊により大きな浸水被害がありました。

当協会では、流出した容器の早期回収、冠水したLPガス容器や一般ガス機器の安全点検を実施し、早期のガス利用を図ることを目指し、関係機関が一丸となって取り組みました。その結果、「高圧ガスにより二次災害を発生させない」という当初の目的を達成できたところです。

近年、気候の変動などにより自然災害はいつ発生してもおかしくない状況となっております。

当協会としては、会員間の連携や電気、通信網が失われた場合も想定し、今後の防災体制を構築していきたいと考えております。



ネーブルパーク平成館（古河市）で開催した消費事業者保安講習会（令和5年11月16日）

賛助会員の広場

Panasonic
CONNECT



工場の最適化を支える、
次世代ロボットコントローラー
アーク溶接用
ロボットコントローラー
G4 コントローラー
シリーズ

タクトタイム短縮:各軸の最高速度を最大27%向上*

溶接性能向上:スパッタ発生量を最大60%削減*

操作性向上:タッチ&3次元表示対応のティーチペンダント

※当社製 従来機種G3コントローラーとの比較

パナソニック 溶接サイト

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_welding



パナソニック コネクト株式会社 プロセスオートメーション事業部

三井住友海上は、安心と安全の提供を通じて、
持続可能な社会の実現に取り組みます

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

SDGsで 未来を照らす

社会課題の解決に向けたSDGs取組

地球環境との
共生



脱炭素社会への移行や自然資本・生物多様性の保全・回復に資する商品・サービス、気候変動への適応策の提供を通じて、自然と調和した経済・社会を担います。

革新的
テクノロジー



自動運転や社会のIoT化に伴うサイバーリスクの発端を未然に防止する商品・サービスの開発や新しい産業創出に伴うリスクに対するソリューションを提供します。

強靭性・回復力



社会インフラの老朽化や災害に備えつつも、データやAIを活用した防災・減災の提案、早期復興対策など新たな価値を提供します。

包摂的社会



誰もがアクセスしやすい商品・サービスの提供や、バリューチェーンまで言及した人権課題への対応、ダイバーシティ&インクルージョンの推進などに取り組みます。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会[®]をめざします。
※外部環境にしなやかに対応する、持続可能な社会



全溶連 ポイントゲットキャンペーン part4

全溶連・福祉共済制度

以下の基準にもとづく

ポイント獲得点数上位5組合

を全溶連大会で表彰!!

ご協力よろしく申し上げます!

ポイント加点基準

①加入人数・口数増加

…1人・1口増加につき各**2ポイント**加点

②新規加入事業所追加(注)

…加入会社1社につき**10ポイント**加点

③組合別加入事業所率(小数第一位四捨五入)

…加入事業所率×**50%**を**ポイント**加点

④福祉共済制度アンケート回収

…1枚回収につき**0.5ポイント**加点

(注) 団体定期保険の新規加入事業所によるポイントに加え、傷害補償または医療補償のいずれか、もしくは両方の新規加入事業所も②のポイントを加点する。

ポイント減点基準

①加入人数・口数減少

…1人・1口減少につき各**1ポイント**減点

※但し、年齢超過による脱退、死亡による脱退、廃業による脱退で減少した場合は減点しない。

※加入無し組合はランク外の取扱いとする。

対象期間・判定方法

2023年10月ー2025年3月

2023年10月1日時点の加入人数・口数との増減をポイント化し判定する

第82回全溶連大会 2025東海 で表彰

第3回 高圧ガスに係る川柳募集のご案内

昨年に引き続き、日々の業務に於いて高圧ガスを扱っている皆さんから高圧ガスに係る川柳を募集する計画を致しました。サラリーマン川柳のような気軽な気持ちで投稿いただければ幸いです。

優秀作品は商品券を贈答の上、機関誌とホームページで公開させていただきますので、振ってのご応募をお待ちしております。

なお、川柳の賞位にかかわらず、各作品をヒントに機関誌掲載の4コマ漫画としてコミライズも検討されますので、どしどし投稿して下さい。

応募作品：テーマは高圧ガスに関わる内容で、高圧ガスあるある、ガスの取り扱いに際して疑問に思う事、困った事、良かったと思う事など日常におけるどの様な出来事でも結構です。ご応募に際しては、一人3点迄応募できます。但し、他のコンテスト未応募作品で著作権などの権利全てが応募者に帰属するものに限ります。

なお、応募作品には「会社名」「氏名」「会社の住所」「会社の電話番号」を必ず明記ください。

応募資格：全溶連会員及び会員の従業員

応募方法：全溶連事務局あてにメールにて応募ください。

表彰：優秀賞 1名 商品券 1万円
佳作 若干名 商品券 5千円
参加賞 入賞者以外の応募者全員の方にクオカード 1,000円分を贈呈致します。

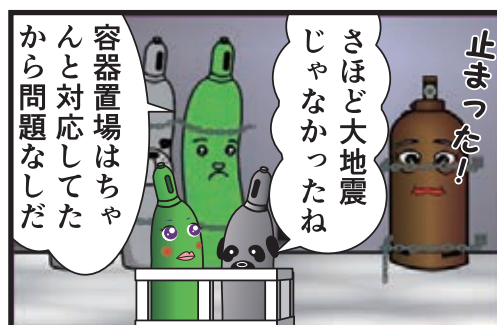
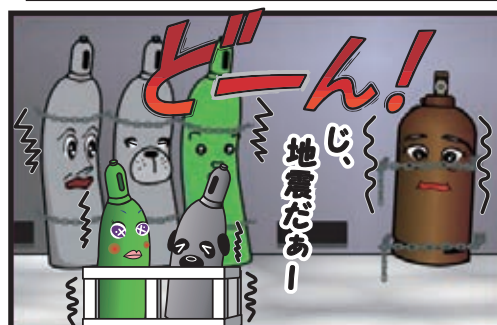
選考：全溶連事務局にて選考

締め切り：2024年2月29日(木) 必着

E-mail：honbu@zenyoren.com

ぼくはボン兵衛くん

原作：封舘(ふうか) 作画：ひくさん
第四十三話「地震来た 容器置場は 対策済み」の巻



全溶連ホームページでも 会報誌が読めます

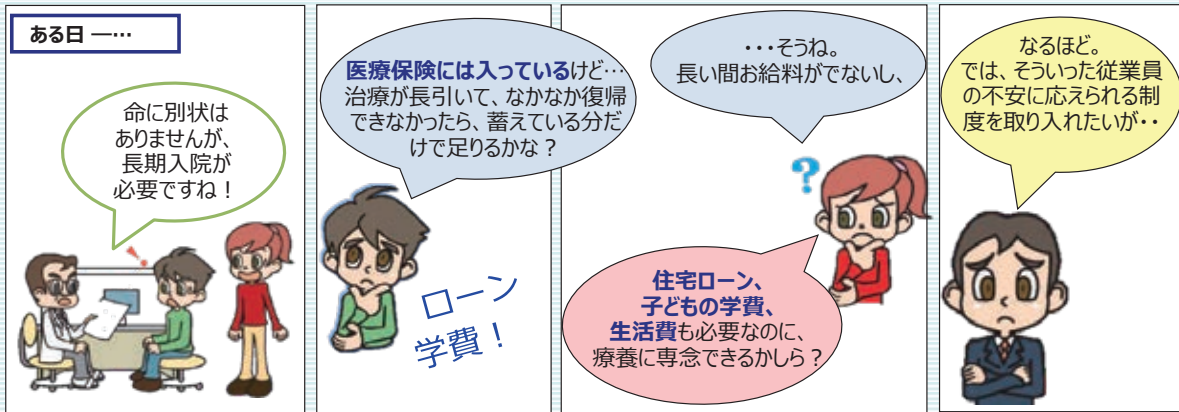
全溶連の会報誌は、全溶連ホームページの広報資料ページより閲覧することが可能です。
また、過去に発行しております会報誌につきましても閲覧することが可能です。

団体割引
20%適用

長期収入サポート制度 (全溶連GLTD制度) のご案内

(団体長期障害所得補償保険)

病気やケガで働けなくなった場合に**長期で収入を補償する制度**です。
全溶連としてまとめて加入することで、**割安な保険料**での準備が可能です。
御社の福利厚生の**拡充**のため、**制度導入**をご検討ください。



そんなときに!!!

全溶連GLTD制度

POINT

全溶連制度での加入メリット!

保険料に団体割引20%を適用しているため、**割安な保険料**でご加入いただけます!
ストレスチェックもサービスとして付帯しています! ※1

働きやすい職場環境に!

福利厚生制度の充実により安心して働ける職場環境となることで、**従業員のモチベーション向上**につながり、定着率UPにつながります。
メンタル疾患による就業障害も最長2年間補償されます!

採用時の自社PRに!

リクルートやCSRの場面で**優良企業のイメージ**をアピールでき、**優秀人材の確保・企業価値の向上**につながります。
業務中・業務外、国内外を問わず、偶然な事故によるケガや病気等が原因で就業障害となった場合に補償します。

訴訟リスク抑制に!

近年、労災をめぐる訴訟が増加しています。**企業としての安全配慮義務**が問われ、労災認定を受ける事例も多くあります。退職後の経済的補償により、**訴訟リスクの抑制効果**があります。

福利厚生の更なる充実や、自助努力への第一歩として、ぜひ企業さまでの導入をご検討ください



GLTDについてのお問い合わせはこちらまで

取扱代理店

株式会社 星和ビジネスリンク
TEL 0120-288-270

引受保険会社

【幹事】あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
広域法人開発部 営業課
TEL 050-3460-8162

【非幹事】日本生命保険相互会社

本商品の詳細は、下記二次元コードよりP.18をご確認ください!

(全溶連福祉制度のパンフレットが閲覧できます)



<https://zenyoren.com/wp-content/uploads/2023/09/0bd0d45e316c6d4a41e9323d3883309d.pdf>

このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ず「全溶連・福祉共済制度のご案内」および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり (普通保険約款・特約)」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。この保険は全国高圧ガス溶材組合連合会を保険契約者とし、連合会会員企業の従業員を被保険者とする団体長期障害所得補償保険の団体契約です。

(2023年12月承認) B23-103012

発行所

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会
東京都千代田区神田北乗物町12 (大竹ビル)

Tel.03-5296-0430 Fax.03-5577-5062

<http://www.zenyoren.com/> e-mail:honbu@zenyoren.com



全溶連は、限りある地球環境の保護に積極的に取り組んでいます。この印刷物は環境保護印刷推進協議会 (E3PA) の認証を受け、グリーンプリンティング認定工場で作成しました。

